

日本鉄鋼協会記事

理事会 (第3回)

開催日: 昭和40年5月19日. 場所: 協会々議室. 出席者: 湯川会長他 43名.

会議事項

1. 共研運営委よりの報告: 第15番目の部会として誕生の設備技術部会はメンバーを選定中である.
2. 各国鉄鋼協会専務理事会議報告: 鉄鋼に関する国際会議開催の調整には今後英鉄鋼協会がこれに当ること. 日本鉄鋼協会が1967~1969年の間にその時点でマッチしたテーマで国際会議を主催することに対する各国の賛成支持が得られたことが報告された.
3. 倭国一博士顕彰事業
日本の鉄鋼に関する学術、技術の育ての親たる故倭博士の遺徳を偲ぶため銅像、記念館が郷里の浜田市 (高根県) に建設されることが具体化しつつある.

理事会 (第4回)

開催日: 昭和40年6月23日. 場所: 協会々議室. 出席者: 作井副会長他 29名.

会議事項

1. 理事の職務分掌について. 理事の庶務, 会計, 研究, 編集の各業務分担を決定.
2. 補欠理事選挙について. 芹沢理事の辞任申し出を承認し, 補欠理事候補に芝崎邦夫氏を推薦することに決定.
3. 企画, 研究, 編集および資料各委員会新委員長を決定.
4. 国内炭活用製鉄用コークス製造試験委員長交代について.
5. 共同研究会鋼板部会長交代について.
6. 造船協会賞候補推薦について. 鍵和田氏 (日本製鋼) の「大型クランクアームの型入鍛造法」の推薦を決定.

企画委員会

第3回委員会 開催日: 昭和40年5月18日. 場所: 協会々議室. 出席者: 伊木委員長他 19名.

会議事項

1. 企画委員会のあり方について: 各常置委員会の分担をはつきりさせることが必要.
2. 8学会懇談会について
3. 造船協会賞, 日本造船工業会賞, 日本海事協会賞候補推薦について: さしあたり見当らなかつたがさらに検討.
4. 第12回腐食, 防食討論会共催について: 共催に決定.
5. 倭国一先生顕彰事業について.
6. 基礎共研, 補助金申請に関する件.

第4回委員会 開催日: 昭和40年6月16日, 場所: 協会々議室, 出席者: 伊木委員長他21名.

会議事項

1. 企画, 研究, 編集各委員会の所管事項について. 各所管事項を明確にする案を作成し理事会に提出することとした.

2. コークスに関する国際会議開催について. 1966年9月に CNRM 主催でベルギーで開かれる同会議にわが国からも論文を提出する方針を決定.

3. 真空協力会, 日本物理学会主催の講演会講習会に協賛することに決定.

研究委員会

第3回委員会 開催日: 昭和40年5月14日. 場所: 協会々議室. 出席者: 村田委員長他10名.

会議事項

1. 専務理事欧州出張報告

(1) イギリスで行なわれた世界金属関係学会専務会議では日本の鉄鋼関係国際会議の開催について好意的であつた.

(2) ドイツ鉄鋼協会より各社の技術提携とは無関係に技術者の交換を行なうことについて非公式の提案があつた.

2. 研究委員会のあり方について

審議未了

3. 科学技術振興に関する基礎調査について説明

第4回委員会 開催日: 昭和40年6月9日. 場所: 協会々議室. 出席者: 村田委員長他20名.

会議事項

1. 科学技術庁および文部省より出された「科学技術振興に関する基礎調査」に関する協会理事, 企画委員, 研究委員からの回答を事務局でまとめ, 研究委員会で検討し, 鉄鋼協会案を作成した.

2. 研究委員会のあり方を検討し, その業務内容をまとめた.

編集委員会

第3回委員会 開催日: 昭和40年5月24日. 場所: 協会々議室. 出席者: 荒木委員長他12名.

会議事項

1. 論文審査報告

2. 論文依頼について (第69回講演大会論文より3件を依頼)

3. 論文別刷に関するアンケートについて
論文集の別刷希望者は, アンケートの結果30%をこえたので, 別刷を講演者で希望する者に頒布することに決定.

4. 技術資料依頼

第4回委員会 開催日: 昭和40年6月14日~15日. 場所: 富士製鉄箱根山荘. 出席者: 荒木委員長他14名.

会議事項

1. 第70回講演大会講演論文審査報告, 報告数190件内2件講演取消し

2. 第70回講演プログラム編成

製鉄、製鋼、加工、性質に分け、7会場で講演をすることになった。

3. 論文審査報告

報告数7件、掲載可4件、修正のため返却3件。

委員委嘱

特別資金運営委員会委員委嘱

湯川会長、作井副会長、沢村、山岡各前会長、木寺理事、企画、研究、編集各委員長、田畑専務理事を委員に委嘱することを決定。

企画、研究、編集、資料各新委員長

上記各委員会新委員長にそれぞれ、辻畑、今井(勇)、荒木、草川各理事が決定した。

国内炭活用製鉄用コークス製造試験委員会新委員長

速水多根雄君に代り新委員長に久田清明君を委嘱することに決定した。

共同研究会鋼板部会新部会長

村田巖君に代り、新部会長に芝崎邦夫君が決定。

企画委員の解嘱委嘱について

萩原興吉君に代り、池上平治君に企画委員を委嘱することに決定。

研究委員の解嘱委嘱について

水井清君に代り、白松爾郎君に研究委員を委嘱することに決定。

湯川会長ラテンアメリカ鉄鋼協会総会に出席

本会会長湯川正夫君(八幡製鉄副社長)は、7月26日から5日間チリのサンチャゴで開かれる第6回ラテンアメリカ鉄鋼協会総会に、日本鉄鋼連盟会長代理として出席する。

評議員逝去

本会評議員南里辰次君(三菱製鋼会長)は7月11日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

講演会講習会小委員会

開催日: 昭和40年5月20日。場所: 協会々議室。出席者: 今井委員他8名。

会議事項

1. 対象

目下のところは鉄鋼製品のユーザー、鉄鋼メーカーの部課長クラスとする。

2. 内容

アンケート、その他によつて調査する。

同委員会

開催日: 昭和40年6月14日。場所: 協会々議室。出席者: 今井委員他4名。

会議事項

1. アンケート調査

(1) 「鉄と鋼」に折込んで会員の需要調査を行なう。

(2) 協会理事など運営者側の指導可能なテーマを調査する。

2. ユーザーを対象とするもの

今秋の規格改訂に機を同じくして、規格のPRを行なう。

3. テストケースとして小規模の講演を行なう。

20~30名/回

共同研究会 運営委員会

第1回委員会 開催日: 昭和40年5月19日。場所: 協会々議室。出席者: 湯川会長他30名。

会議事項

1. 事務報告
2. 各研究部会報告
3. 設備技術部会設置に関する件
協議の結果 設備技術部会設置が決定された。
4. 新研究題目
5. 第5回共同研究会報告講演会の件
6. 共同研究会内規一部変更の件

製鉄部会

第26回部会 開催日: 昭和40年5月26・27・28日。場所: 東海製鉄・矢作製鉄。出席者: 林部会長他140名。

会議事項

1. 講演
“東海製鉄、製鉄設備建設と操業について”
東海製鉄 技術部 山田良正
“呉製鉄所、製鉄工場の操業実績について”
日新製鋼(株) 呉製鉄所 宮川保重
2. 共通議題
“高炉稼働率の上昇対策”

圧延理論分科会

第26回分科会 開催日: 昭和40年6月15・16日。場所: 早大隈会館。出席者: 安藤主査他35名。

会議事項

高温振り関係、熱間変形抵抗関係、圧延精度特性関係、冷間圧延共同実験関係の資料が提出され討議を行なった。

鋼板部会 分塊分科会

第20回分科会 開催日: 昭和40年6月17・18日。場所: 富士製鉄釜石製鉄所。出席者: 鍵山主査他

会議事項

1. 加熱能力算定に関するもの4編、自由議題16編の資料が提出され討議された。
加熱炉能力算定方式は今秋を目標に見なして行なうことになった。
2. 釜石製鉄および青ノ木高炉跡の見学。

厚板分科会

第19回分科会 開催日: 昭和40年6月3, 4日。場所: 富士製鉄広畑製鉄所。出席者: 吉田主査他60名。

会議事項

1. 工場操業状況および作業定員調査
2. 厚板工場の工程管理について
工程管理については各社とも多くの問題点をかかえており活発な質疑応答が展開された。

条 鋼 部 会

大 形 分 科 会

第2回分科会 開催日: 昭和40年5月14・15日. 場所: 富士製鉄釜石製鉄所. 出席者: 中島主査他39名.
会議事項

1. 工場操業調査表
2. 共通議題“精整, 検査, 仕分けラインの現状と合理化対策”
3. 自由研究
4. 工場見学

釜石製鉄所 大形工場 分塊工場 その他

5. 今後の分科会運営方針として1つのテーマを各社持廻りでもくしく検討しそのテーマをまとめて, あるいはそのテーマを専門家に講演してもらって, 成果をあげたらとの提案があり承認された.

線 材 分 科 会

第20回分科会 開催日: 昭和40年6月21日. 場所: 富士製鉄室蘭製鉄所. 出席者: 浅田主査他35名.
会議事項

1. 鉄鋼生産設備能力算定方式について
2. 鉄鋼設備技術部会設置について
3. 共通議題
 - (1) 工場作業実績について
 - (2) 品質および能率の向上対策
 - (3) 品質に関する工場実験について
 - (4) 工場作業実績表の作成要領改訂について

鋼 管 部 会

第4回部会 開催日: 昭和40年5月21・22日. 場所: 日本パイプ製造尼崎製造所, 住友金属工業和歌山製鉄所
出席者: 原田芳部会長他79名.
会議事項

第1日目 伊丹市文化会館にて

継目無, 溶接管関係に分れて継目無関係は加熱穿孔疵に関する自由討論, 溶接管関係は Weldability についてのアンケートの集約結果を討論した. 非常に活発な意見の交換があつた.

第2日目 住金と和歌山製鉄所本館会議室にて

共通議題「工程中の品質管理と検査について」各社順番に発表, 討議した. 製管工場見学.

特 殊 鋼 部 会

幹事会 開催日: 昭和40年5月13日. 場所: 協会々議室. 出席者: 磐城部会長他10名.

熱 経 済 技 術 部 会

開催日: 昭和40年6月17・18日. 場所: 神戸製鋼 健保会館.

会議事項

1. 副生ガスの基準熱量について
2. 鋼材加熱炉内伝達係数の検討, 他
神鋼灘浜工場見学

計 測 部 会

第3回部会 開催日: 昭和40年6月28~30日. 場所: 神田学士会館, 鉄鋼連盟. 出席者桂部会長他65名.
会議事項

1. 計測の社内教育について
2. 高炉および高炉付帯設備の計測制御
3. 製鋼関係の計測制御集中管理
4. 集中管理
5. 管理上重要な計測
6. 熱処理炉の計測制御
7. 計測制御上の問題点
8. データ処理, 計算制御などに関する資料, 実例
9. 製品検査のための計測

調 査 部 会

幹事会 開催日: 昭和40年5月11日. 場所: 協会々議室. 出席者: 木寺部会長他10名.

幹事会 開催日: 昭和40年5月26日. 場所: 富士製鉄本社会議室. 出席者: 木寺部会長他9名.

幹事会 開催日: 昭和40年6月11日. 場所: 八幡製鉄会議室出. 出席者: 高橋幹事他10名.

新 技 術 開 発 部 会

直接還元法分科会

第7回ロータリーキルン法小委員会

開催日: 昭和40年6月2日. 場所: 金属材料技術研究所.
出席者: 木下小委員長他19名.

会議事項

1. 金材研ロータリーキルンによる実験についてのアンケート回答集計結果報告
2. バッチ式回転炉による鉄鋼石の還元の説明, 他

鉄 鋼 分 析 部 会

第16回部会 開催日: 昭和40年6月10日. 場所: 協会々議室. 出席者: 池上部会長他30名.
会議事項

1. 運営委員会報告
2. 標準化委員会よりの“鋼中gas分析”の検討依頼について
3. 蛍光X線分析分科会経過報告
4. 発光分光分析分科会経過報告
5. ISO/TC17/鉄鋼マンガン分析方法について

発 光 分 光 分 析 分 科 会

分科会在京委員会 開催日: 昭和40年5月28日. 場所: 協会々議室. 出席者: 杉山主査他11名.

第6回分科会 開催日: 昭和40年6月8日. 場所: 協会々議室. 出席者: 杉山主査他28名.

会議事項

1. 鉄および鋼の光電測光式発光分光分析法の適用
2. 18-8ステンレス鋼の分光分析における Si の影響とその補正, 他

螢 光 X 線 分 析 分 科 会

開催日: 昭和40年6月9日. 場所: 協会々議室. 出席

者：川村主査他30名。

会議事項

1. 蛍光X線分析法の繰返し再現精度 $\hat{\sigma}_M$ 集計結果
2. ステンレス鋼分析共同研究結果のとりまとめ方
3. ステンレス鋼の蛍光X線分析方法，他

JIS 原案作成委員会

開催日：昭和40年5月14日。場所：協会々議室。出席者：川村主査他10名。

会議事項

ステンレス鋼の蛍光X線による分析方法，JIS原案の検討
共同実験を行ない，その結果について討議を行なった。

鋼中非金属介在物分析小委員会

第2回委員会 開催日：昭和40年5月7日。場所：(株)日本製鋼所本社。出席者：前川小委員長他13名。

会議事項

1. 第3回共同実験について
Sの影響を調べるための共同実験試料作成について八幡で検討し報告
2. 第2回共同実験結果について
米山幹事より報告があった。
3. 第4回共同実験試料作成について

標準化委員会

第7回幹事会 開催日：昭和40年5月18日。場所：協会々議室。出席者：木下幹事長他16名。

第8回幹事会 開催日：昭和40年6月3日。場所：協会々議室。出席者：辻畑委員長他12名。

普通鋼分科会

第1回分科会 開催日：昭和40年5月7日。場所：協会々議室。出席者：木山主査他11名。

会議事項

1. ISO-TC. 17 WG8 の熱間形鋼の寸法および許容差に関する draft が来たのでこれに対する日本の Comment を作成するための検討を行なった。
2. 各項目の詳細の検討は各社持帰り次回までに検討持ち寄る。
3. 本年7月ロンドンで開催されるWG8の会議に出席する日本代表を早急に決定する要あり富士製鉄に依頼する。

普通鋼分科会一般鋼材専門委員会

開催日：昭和40年5月26日。場所：協会々議室。出席者：木山主査他18名。

会議事項

1. ISO/TC-17 の資料にもとずき
 - (1) 等辺不等辺山型鋼の支払規格
 - (2) 丸鋼の寸法規格
 - (3) 角鋼の寸法規格
 - (4) 平鋼の "
 - (5) I-Column, I-beam の寸法規格
 - (6) 等辺，不等辺山型鋼の寸法公差についての審査を行なった。
2. 熱間圧延鋼板および鋼帯の形状規格 (JIS 原案)

についてJIS専門委員会でメーカー側の再検討事項についての審議を行なった。

鋼管分科会

第1回分科会 開催日：昭和40年5月25日。場所：住友金属東京支社会議室。出席者：下川主査他11名。

会議事項

1. ISO TC-5 より「cold drawn Precision Steel Tubes」および「Steel Pipes for Gas and Water and for Sewage」に関する draft が来ておりこれに対する日本の Comment を作成するための検討を行なった。
2. JIS 改訂に関する問題点の検討を行なった。

第2回分科会 開催日：昭和40年6月25日。場所：協会々議室。出席者：下川主査他13名。

会議事項

1. ISO-draft の検討および comment の作成
2. JIS 改訂について
今年度は熱交換器用鋼管以下改訂の時期になるのでどの項目から取上げるべきか検討し，次回までにアンケート調査を行ない決定する。

標準試料委員会

第15回委員会 開催日：昭和40年6月1日。場所：協会々議室。出席者：池上委員長他14名。

会議事項

1. 標準試料在庫量報告
2. 第6号(d)ネズミ銑鉄の分析成績表について
3. 標準試料製造計画案説明
4. 旧試料のイオウ再分析について
5. 新委員の追加について

鉄鋼基礎共同研究会

第2回運営委員会 開催日：昭和40年6月14日。場所：協会々議室。出席者：三島委員長他12名。

会議事項

1. 各研究グループの経過報告
2. 学振第97委よりの「応力腐食割れ」の基礎研への組み入れ要請に対する態度決定

試験高炉委員会

第3回幹事会 開催日：昭和40年6月3日。場所：協会々議室。出席者：辻畑委員長他12名。

国内炭活用製鉄用コークス

製造試験委員会

開催日：昭和40年6月17日。場所：八幡製鉄八幡製造所。出席者：速水委員長他36名。

会議事項

試験設備竣工後今日までの現地実施委員会による試験経過報告と委員による結果の検討と今後の方針について

ク リ ー プ 委 員 会

クリープ委員会連絡会 開催日: 昭和40年6月17日.
場所: 協会々議室. 出席者: 俵副委員長他9名.
会議事項

1. 試験対象鋼種について
2. 41年度着手すべき希望材料について
3. 具体的試験温度

第1回幹事会 開催日: 昭和40年6月29日. 場所: 協会々議室. 出席者: 俵, 作井副委員長他9名.
会議事項

1. 材料試験部の依頼により連絡会でまとめた試験鋼種関係報告承認.
2. クリープに関する業務を強力に推進するため, 早急に技術部会メンバー人選をすることに決定.

第20回運営委員会および第2回理事会

開催日: 昭和40年5月11日. 場所: 協会々議室. 出席者: 俵運営委員長他16名.
会議事項

1. 理事, 監事改選の件
2. 39年度決算報告承認の件
3. 40年度事業計画・収支予算案設定の件
4. 同上賦課金および徴収方法の件
5. 第4回通常総会開催および議題承認の件

ク リ ー プ 試 験 技 術 研 究 組 合 技 術 委 員 会

第30回委員会 開催日: 昭和40年5月27日. 場所: 協会々議室. 出席者: 横井信(金材研)他21名.
会議事項

1. 38年度特殊雰囲気クリープ試験結果報告書の取りまとめについて
2. 39年度共同研究の実施について

第31回委員会 開催日: 昭和40年6月26日. 場所: 協会々議室. 出席者: 平委員長他19名.
会議事項

1. 38年度試験結果報告書の最終検討について
2. 39年度長時間クリープラプチャーに関する共同研究について
3. 40年度共同研究試験計画案の検討

第4回通常総会 開催日: 昭和40年5月25日. 場所: 協会々議室, 出席者: 俵運営委員長他14名.
会議事項

次の会議の目的事項はいずれも承認可決され役員の改選を了した.

1. 昭和40年3月31日現在貸借対照表, 財産目録および39年度事業報告書, 損益計算書承認の件
2. 昭和40年度事業計画および収支予算案設定承認の件
3. 昭和40年度費用の賦課および徴収の方法承認の件
4. 役員の改選に関する件

ついで通常総会閉会后新理事による理事会を開催し

下記事項を討議し, いずれも可決された.
記

会議の目的事項

1. 理事長および専務理事選任の件
 2. 運営委員長および技術委員長委嘱の件
- 新役員は次のとおりである.

40年度役員氏名 (敬称略)

理 事		14名
理 事 長	浅田 長平	
専務理事	俵 信次	
理 事	武田 喜三	
〃	桂 寛一郎	
〃	藤本 一郎	
〃	小出 秋彦	
〃	浅田 千秋	
〃	岡田 知彦	
〃	和田 重暢	
〃	三浦 倫義	
〃	高橋 菊夫	
〃	奥村 正義	
〃	名児耶 馨	
〃	田畑新太郎	
監 事		2名
	竹内 則次	
	佐藤 信次	

鉄鋼照射試験研究合同委員会

第5回鉄鋼照射試験40年度計画打合せ

開催日: 昭和40年5月17日. 場所: 協会々議室. 出席者: 長谷川委員長他19名.
会議事項

1. 40年度供試材について各社の計画を交換した. この件は至急決定することにした.
2. 学振グループの研究案について検討した.
3. 国内照射試験について原研より報告があり, ホットラボの設備としてX線測定以外はほぼ可能とのことであった.

第5回照射試験立会者連絡会 開催日: 昭和40年5月28日. 場所: 日本製鋼所小塚山寮. 出席者: 長谷川委員長他15名.

第12回研究合同委員会 開催日: 昭和40年6月12日. 場所: 協会々議室. 出席者: 長谷川委員長他33名.
会議事項

1. 東大, 東工大, 日立, 富士鉄, 住金他から38年度分あるいは39年度分照射試験経過報告あり.
2. 日本原子力工業(株)市野氏の講演“原子力容器について”

支部記事

北海道支部

役員補充 北海道支部の役員が下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。(○印は新任)

40年度支部役員

○ 支部長	森 永 孝 三
理 事	萩 原 巖
〃	丹 羽 貴 知 蔵
〃	金 森 祥 一
〃	鍵 和 田 暢 男
〃	館 野 万 吉 夫
〃	下 田 秀 夫
〃	楠 野 桂 三
〃	田 島 喜 久 雄
〇 評 議 員	吉 井 周 雄
〃	長 岡 金 吾

評 議 員	松 川 伊 佐 高 小 守 小 山 中 岩 西 前
〃	原 村 沢 藤 藤 橋 谷 川 山 内 島 瀬 田 川
〃	嘉 信 正 久 健 長 守 平 四 郎 吉 仁 久 郎 三 弥
〃	市 一 宣 男 二 之 彦 郎 仁 久 郎 三 弥
〇 監 事	田 中 重 芳
〃	浅 野 郷 正 敏
〃	西 郷 吉 五 一 郎
〃	○ 岩 本 山 加 田 富 政 直 秀 政 一 隆 福 太 郎 吉 寿 郎 朗 雄
〃	○ 福 星 田 富 政 直 秀 政 一 隆 福 太 郎 吉 寿 郎 朗 雄
〃	○ 今 山 富 政 直 秀 政 一 隆 福 太 郎 吉 寿 郎 朗 雄
〃	○ 迎 藤 利 田 中 島 橋 東 原 池 瀬
〃	○ 藤 利 田 中 島 橋 東 原 池 瀬
〃	○ 野 高 永 奥 湯 楠
〃	○ 湯 池 瀬
〃	○ 楠 瀬

中国支部

役員改選 中国支部役員が下記の通り決定いたしました。(○印は新任)

40年度支部役員

支部長	数 納 敷 郎
常務理事	○ 金 森 政 雄
〃	矢 野 巖 博
〃	山 本 垣 達 久
〃	○ 岩 榎 宮 久 夫
〃	篠 原 忠 隆 茂 夫
〃	太 家 中 本 大 作 夫
〃	○ 山 本 本 大 晴 夫
〃	○ 渡 北 島 一 修 男
〃	神 野 本 一 次 嶋
理 事	山 影 井 英 時 之 助
〃	○ 武 村 井 尾
〃	〃
〃	〃

理 事	田 中 重 芳
〃	浅 野 郷 正 敏
〃	西 郷 吉 五 一 郎
〃	○ 岩 本 山 加 田 富 政 直 秀 政 一 隆 福 太 郎 吉 寿 郎 朗 雄
〃	○ 福 星 田 富 政 直 秀 政 一 隆 福 太 郎 吉 寿 郎 朗 雄
〃	○ 今 山 富 政 直 秀 政 一 隆 福 太 郎 吉 寿 郎 朗 雄
〃	○ 迎 藤 利 田 中 島 橋 東 原 池 瀬
〃	○ 藤 利 田 中 島 橋 東 原 池 瀬
〃	○ 野 高 永 奥 湯 楠
〃	○ 湯 池 瀬
〃	○ 楠 瀬

新入会員氏名

(昭和40年5月1日~5月31日)

正 会 員	中島己之留 東海製鉄(株)	大河内完治 (株)神戸製鉄所
大頭 友三 東海製鉄(株)	二 杵 幸 夫 〃	齊藤 忠 〃
大山 登 〃	畑 寛 治 〃	杉本 博 〃
海内 一仁 〃	福田章一郎 〃	太田 定雄 〃
川辺 正行 〃	松下 博 〃	宮地 正俊 〃
榊原 路晤 〃	水鳥 武和 〃	山口 喜弘 〃
笹田 昊 〃	村山 太一 〃	菊池 修 富士製鉄(株)
貞広 真二 〃	八代 慶治 〃	吉田 昭彦 〃
佐藤 隆夫 〃	吉田 勝可 〃	板東誠志郎 〃
住本 勝 〃	若松 善英 〃	田中 重男 住友金属工業(株)
中尾 武夫 〃	小保方徳一 (株)神戸製鋼所	松野二三朗 〃

蔵重 毅	大阪製鋼(株)	高橋 貢	日本砂鉄鋼業(株)	殿村 一男	日新製鋼(株)
吉沢 謙一	八幡製鉄(株)	松野 雅樹	富士バルブ(株)	松本 保雄	東北電化(株)
金田 耕一	〃	進藤 重信	日本エンジニアリング(株)	森 知人	東海鋼業(株)
樋上 寛	〃	西村 雅純	大和製鋼(株)	藤原 義雄	淀川製鋼所
太田 耕三	〃 堺製鉄所	石山 佳久	北日本特殊鋼(株)	柏木 健	〃
尾崎 晴男	〃	加藤 強	三菱電機(株)	鹿田 幸生	東京芝浦電気(株)
内海 道郎	〃	田内 俊三	(株)不二越	稲田 俊夫	(株)米子製作所
辻 節雄	〃	有山 勉	〃	溝口 恭弘	東亜精機(株)
中野 忠幸	〃	倉片 立	日産自動車(株)	阿部 邦雄	理化学研究所
堀田 正幸	〃	櫛引 久男	みつ製鉄建設事務所	高橋 克地	大和工業(株)
久堀 文男	〃	山根 伍	三菱重工業(株)	阿南 秀則	臨海製鉄(株)
佐々木 弘	〃 光製鉄所	鷗池 寛	〃	桑野 正司	国立宇部工業高等専門学校
山蔭 清利	〃	堤 忠義	〃	武光 亮三	入江商店名古屋出張所
田岡 忠美	金属材料技術研究所	西川 誠治	〃	上梶 正	特殊電極(株)
鍋木 紘	日本金属工業(株)	池内 晃	〃	栢山 博	関西電気製鉄(株)
池田 俣	日本ステンレス(株)	小林 正美	神戸製鉄所	浜島 祥浩	(株)木屋
中村 宏	川崎製鉄(株)	長谷川義彦	大同製鋼(株)	本田 寿	大谷重工業(株)
	千葉製鉄所	八重樫琢造	日曹製鋼(株)	秦 和宣	(株)日立製作所
森脇 三郎	〃	菅 昭雄	〃	竹内 竜喜	ユーエスコンサルタンツ
西田 稔	〃	鎌田 隆	日曹製鋼(株)	坂田 裕	住友機械工業(株)
佐山 泰弘	〃	吉田 和男	吉田鑄造工業(株)	鈴木 東太郎	(株)鈴東製作所
石川 銀弘	大同製鋼(株)	平山 道生	富士溶接棒(株)	柳ヶ瀬 勉	九州大学工学部
田中 照章	〃	和田 幸夫	多摩機械工業(株)	吉川 積善	芝浦工業大学
渡辺 哲夫	〃	平山 武雄	朝日製鉄(株)	小門 純一	京都大学
小川 寛	三菱製鋼(株)	松元 忠雄	日立金属工業(株)	大場 章	東北大学選鉱製錬研
苅安 英一	日本鋼管(株)本社	佐々木定之	北海道立工業試験場	志村 繁隆	法政大学工学部
竹田 睦夫	〃	徳永 哲昭	九州島田鋼業(株)	清水 達次	山口大学工学部
樋上 賀一	〃	藤村 敏朗	東海鋼業(株)	滝沢 堅三	都立北豊島工業高校
青井 久幸	〃	平 慶夫	東北砂鉄鋼業(株)	山本 郁雄	芝浦工業大学
	水江製鉄所	岡本 敏一	有明製鉄(株)	学 生 会 員	
安藤 三雄	〃	萱本 良雄	〃	黄 清連	東北大学工学部
中村 晋	〃	浦上 辰己	〃	佐藤 宣雄	〃
半明 正之	〃	甲斐 武徳	〃	田口 敬志	〃
山本 倫久	〃	猪股 迪由	トピー工業(株)	足立 孝夫	早稲田大学大学院
神尾 孝明	〃 福山製鉄所	須田 興世	〃	所 一典	〃
北原 正人	〃 富山電気製鉄所	今村 春光	関東特殊製鋼(株)	小倉 正之	鉄鋼短期大学
乾 静郎	愛知製鋼(株)	宮崎 松生	東京芝浦電気(株)	常川 信夫	〃
熊野 哲夫	〃	山内 正	八幡化工機(株)	庄司 武志	東京工業大学
栗木 博	〃	山本 博	中部鋼鉄(株)	高橋 常利	〃
小松原淳宏	〃	萩原 清	石川島播磨重工業(株)	松本 弘	京都大学工学部
都築 和夫	〃	深井 利行	〃	ラ・ハルジ ュ	〃
日野 武雄	〃	岩下 義明	三井物産(株)	桑野 恵二	九州大学大学院
深谷 和吉	〃	寺沢 国彦	中部鋼鉄(株)	田中 靖久	名古屋工業大学大学院
藤咲 衛	日本揮発油(株)	鈴木 博	玉川機械金属(株)	西谷 英彦	大阪府立大学工学部
西野 知良	〃	川端 昇	北海道立工業試験場	増井 浩昭	東京大学大学院
山本雄之助	ダイハツ工業(株)	須山 康男	黒崎窯焔(株)	古平 恒夫	茨城大学工学部
舩沢 秀夫	日立エンジニアリング(株)	大井川武男	品川白煉瓦(株)	藪田 忠嗣	東京都立大学工学部
	(株)富山製錬所	鎌田 祐次	大阪瓦斯(株)	鈴木 孝男	室蘭工業大学工学部
甲谷 裕	長野県精密工業試験場	吉田 清太	理化学研究所	外 国 会 員	
山田 富重	(株)東亜工機製作所	佐藤 繁樹	特殊電極(株)	周 喜 銓	(韓国)
五十嵐 稔	尼崎製鉄(株)	小柴 芳夫	大日商事(株)	邱 瑞 彬	大栄製鋼股份有限公司
池田 力	〃	馬上 昌孝	日平産業(株)		(中華民国)
浜口 則行	〃	竹本 博次	特殊製鋼(株)		
松浦 清	東北電化工業(株)				

(昭和40年6月1日～6月30日)

正 会 員

古山 富也 八幡製鉄(株)堺製鉄所
 赤松 茂 〃 八幡製造所
 池本 猛 〃
 川崎 正侃 〃
 斎藤 太朗 〃
 堀 堅二 〃
 山田 三寿 〃
 吉井 秀雄 〃
 吉田幸一郎 〃
 宇田川次男 日立製作所亀有工場
 三好 喬 〃
 相川 義夫 〃勝田工場
 市嶋 勇 富士製鉄(株)
 立石 信之 〃 広畑製鉄所
 古川 正弘 〃 室蘭製鉄所
 今津 孝幸 三菱重工業(株)
 井上 俊夫 〃 神戸研究所
 岩戸 研二 〃 広島造船所
 角田 昭彦 〃 長崎造船所
 桑野 知矩 日新製鋼(株)呉製鉄所
 中元 計男 〃 周南製鋼所
 杉山 敏 日本鋼管(株)
 中尾 亜男 〃 水江製鉄所
 荒木 健治 〃 技術研究所
 岩田 佳郎 川崎製鉄(株)
 柴田 正隆 〃 千葉製鉄所
 栗山 孝司 大阪製鋼(株)
 鈴木 忠雄 〃
 遠茂谷 好 住友金属工業(株)
 竹田 良範 〃 和歌山製鉄所
 土屋 勝弘 (株)日本製鋼所

隈元 幸保 三菱製鋼(株)
 長崎製鋼所
 深町 国吉 大同製鋼(株)
 知多工場
 高橋 祥三 帝国製鉄(株)
 藤田 昭夫 (株)本山製作所
 橋本 季夫 有明製鉄(株)
 新居 充暁 西武化学工業(株)
 田中 徹 佐世保重工業(株)
 一ノ井二郎 日本キューカーケミカ
 ル(株)
 稗田 滋 大阪熱処理(株)
 有川 正 愛鋼工業(株)
 日景 徹 北日本特殊鋼(株)
 上村 薫 産業開発(株)
 岸本 進 日伸製鋼(株)
 阿久津三朗 日本鑄造(株)
 檀 武弘 (株)大谷製作所
 西川 敏秀 トピー工業(株)
 弘本 達雄 太平工業(株)
 有馬頭太郎 玉川機械金属(株)
 山本 英也 日本電極(株)
 政田 直明 柳井鑄造所
 関端 正雄 東京工業大学金属科
 田部并邑雄 日本製箔(株)
 国島 治 日本亜鉛鍍金(株)

学 生 会 員

相川 通治 熊本大学工学部
 伊崎 紘一 〃
 稲井 邦大 〃
 浦井 正章 〃
 柳木 隆史 〃
 太田 孝士 〃
 緒方 隆之 〃
 岡本 隆司 〃
 笠原 紘道 〃
 門田 守 〃
 上永野 洋 〃
 川尻 潤 〃

木下 雄三 熊本大学工学部
 黒木 海 〃
 久保田隆也 〃
 古賀 剛 〃
 古賀 忠敏 〃
 坂本 卓 〃
 城元 克則 〃
 勢島 元 〃
 田尻 幸一 〃
 田上 耕司 〃
 田中 秀坪 〃
 竹林 功 〃
 谷口 勝征 〃
 鶴飼 栄 〃
 富永 直継 〃
 中島 喜教 〃
 中村征四郎 〃
 野島 靖巨 〃
 深迫 紀夫 〃
 前川 紘一 〃
 正木 航二 〃
 松田 茂樹 〃
 三嶋 正機 〃
 宮川 泰男 〃
 森永 隆 〃
 安武 正武 〃
 江川 勝一 関西大学大学院工学研
 究科
 小林 武 〃
 西村 盛夫 〃 工学部
 川良 八紘 鉄鋼短期大学
 高良 紘 〃
 放生会治男 〃
 樫田 耕一 東京工業大学大学院
 〃 理工学部
 中川 敏男 〃
 松本 元 大阪大学工学部
 平野浅三郎 千葉工業大学工学部
 宇都宮資雄 茨城大学工学部

外 国 会 員

Peter Sika,
 (Austria)
 Metallurgical Dept.
 of Combustion
 Engineering. Inc.
 (U.S.A)
 Alfred Decker
 (Belgium)
 Valerio da Silva
 Fusaro
 (Brasil)

Library of the Monta-
 nistische Hochschule.
 Head of Process Meta-
 llurgy Abbaye de
 Val. Benoit
 Usiminas

J. J. Beinlich
 (U.S.A.)
 Applied Sciences
 Library
 (United Kingdom)
 Danish Technical
 Information Service
 (Denmark)

Technical Information
 Section United
 States Steel Corpo-
 ration